

平成30年度山形県住宅供給公社事業計画・予算について

1 事業計画

(1) 分譲事業

勤労者等を対象とした良質な住宅用地を求めやすい価格帯で供給する。

① 用地取得

単位：千円

所在地 (市町村名)	団地名	面積 (㎡)	金額	摘要
山形市	公社タウン 蔵王みはらしの丘	19,056	154,332	土地取得代金（61区画分） 【全体計画】 面積 72,727㎡ 区画数 230区画 契約額 654,426千円 取得期間 平成24年12月～平成31年3月 〈平成29年度までの取得状況〉 面積 53,671㎡ 区画数 169区画 支払額 500,094千円

② 助成・管理

単位：千円

所在地 (市町村名)	団地名	金額	摘要
山形市	公社タウン 蔵王みはらしの丘	18,145	やまがた森林（モリ）ノミクス推進助成 U・I・Jターン助成 住環境整備等助成 管理費等

③ 販売

宅地分譲事業収入 **52 区画** **356,991 千円**

単位：区画

所在地 (市町村名)	団地名	総区 画数	販売計画		引渡計画（損益計上）		
			募集数	契約目標数	契約分		計 (A+B)
					平成29年度 (A)	平成30年度 (B)	
山形市	公社タウン 蔵王みはらしの丘	230	91	57	12	40	52

※区画数は平成30年3月16日時点の数値である。

(2) 地域づくり支援事業

人口減少対策等のやまがた創生推進に向け市町村との連携のもと、すまい・まちづくり関係の地域づくりを推進する。

① まちの再生支援事業 事業費 3,340 千円

老朽空き家を解体した跡地の利活用により子育て世帯等による街なか居住の促進等を図る。

- ・実施箇所 1 箇所

※ 実績 単位: 件

年度		26	27	28	29
鶴岡市	解体	1	1	1	
	譲渡契約		┌───┐	└───┘	→ 1

② 空き家の利活用促進

ア 空き家買取り再販モデル事業 事業費 16,700 千円

市町村から要請を受けた空き家を買取り、解体又はリフォームの後に、移住・子育て世帯等に販売する。

- ・実施箇所 上山市ほか 1 箇所

イ 空き家相談窓口事業 事業費 459 千円

空き家の利活用についての相談窓口の運営や相談員の研修等を実施する。

- ・相談窓口 県内 19 箇所
- ・出張相談会の実施 県内 5 市町

ウ 中古住宅診断助成事業 事業費 450 千円

空き家の利活用促進のため、県の補助制度と連携し、公社分譲の住宅を対象に住宅診断費用の一部を補助する。

③ 市町村施設の整備支援 事業費 計 479,860 千円

ア 立替施行 < 新規 >

市町村が行う施設整備を市町村との協定のもと発注から引渡しを代行して実施する。

- ・実施箇所 山形市、朝日町
- ・総事業費 717,210 千円のうち

平成 30 年度実施分 事業費 475,960 千円

イ 技術支援（設計業務の支援） 事業費 3,900 千円

市町村が発注する設計業務に関し市町村への技術的な支援を行う。

④ 市町村営住宅の管理支援 事業費 6,335 千円

朝日町営住宅 97 戸の維持修繕等の技術的支援や入居資格審査、家賃算定等の管理を行う。

⑤ 人口減少地域での宅地開発 < 新規 > 事業費 4,038 千円

天童市からの依頼により若者世帯等の定住促進に向けた宅地開発を行う。

平成 30 年度は宅地開発予定地に係る基本調査を行う。

⑥ 公社事業の周知・促進 事業費 230 千円

公社事業の促進に向け、市町村への訪問や相談会の開催による周知活動を行う。

⑦ 県多目的緑地広場整備事業（山形市内） 事業費 27,210 千円

平成 29 年度からの繰越しによる整備工事を実施する。

（3）資産の有効活用

山形市内の公社分譲地の利便性向上等を図る目的で、公社保有の土地等を業務用及び居住用として賃貸する。

・ 業務用地等	[19 箇所、面積 57,538 ㎡]	賃料収入	131,165 千円
・ 居住用地	[26 箇所、面積 8,485 ㎡]	賃料収入	5,818 千円
		賃料収入 計	136,983 千円